

上京中だより

京都市立上京中学校 校長 近藤 博史

令和2年9月4日

8・9月号

校訓 人・もの・ときを大切に

学校教育目標 「自立・貢献・夢づくり」

豊かな心とたくましく生きる力を備え、社会に貢献する

夢や希望をもって、未来を切り拓く生徒の育成

8・9月の言葉 「今後も目標に向かって 精一杯
続ける・やりきる・行動する！～まずは感動する歌声～」



1学期終業式の日には梅雨が明け、8月夏休みに入ると、さらに暑さが厳しくなりました。地域によっては40℃を超え、京都市内でも最高気温が全国で上位に数えられるほどの猛暑が続き、熱中症で救急搬送される人もたくさん見られました。夏休み明け直前22日の夕方、雷とともに一時的な降雨があったときには、直後に気温・湿度が下がり、とても気持ちのよい爽(さわ)やかさを感じました。「秋が来た？」と少し期待をしましたが、それも束の間、翌日には暑さが戻り、今なお続いています。

それでも、蝉(せみ)の鳴き声はほとんど聞かれなくなり、赤とんぼを見かけたり、日が暮れると秋の虫の音が聞こえるようになりました。厳しい暑さの中で気づかないけど、秋の足音は少しずつ近づいているようです。

さて、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、毎年夏休みに開催される高校の部活動体験や学校説明会はweb(ウェブ)等で行われ、夏祭り・地蔵盆など地域の行事も多くは中止となり、外出も控えめとなって、いつもの夏とは少し違う過ごし方をした人も多かったのではないのでしょうか？

今年の『夏休みのしおり』に書いた、ソフトボールの五輪金メダリスト・上野選手の後輩へのメッセージを覚えていますか？目標としていた高校総体が中止となり、気落ちした母校の後輩たちに贈った言葉です。

ひとにはできることと できないことがある
できないことをなげくより できるひとをうらやむより
できることに精一杯 できることに感謝しながら

その言葉に添えて、この夏休みに何か1つでも、精一杯「続けられた」「やり切れた」「行動できた」というものができることを心から願っています、と書き加えました。

23日間という、例年に比べると短い夏休み。皆さんにとって、この夏休み、達成感や満足感のある、有意義な期間となったでしょうか？

夏休みが終わり2学期が始まりましたが、今後も目標に向かって、精一杯「続ける・やり切る・行動する」ことにチャレンジしてください。

なお、この2学期は、前半に3年生にとっては最後となる、合唱コン・体育大会・修学旅行などの大きな行事が待っています。新型コロナウイルス感染が収まらない中、どれだけの行事が実現できるのかといった心配はありますが、1つ1つの取組が、1・2年生も含めた皆さんにとって思い出に残るものとなるよう、感染予防(3密を避け、マスクの着用、手洗いの励行)に努め、本番までの活動や練習に全力で取り組みましょう。

そして、それらの取組を通じて、上中生一人一人が、一回りも二回りも大きく成長することを期待しています。

また、まもなく2学期中間テストの実施となります。3年生は2学期後半の進路選択に向け、希望を叶えるために、これから勝負となります。今回のテストも重要な意味があります。1・2年生も含め、もう一度出題範囲を確認し、計画的に取り組んでください。



↑あいさつ運動
上：PTA
中・下：生徒会

ところで、今年は戦後75年目という節目となる年です。夏休み中も8月に入ると、広島・長崎への原爆投下の惨状や戦争の悲惨さ、多くの命が失われた怒り・悲しみなどを伝えるニュースを見かける機会がたくさんありました。

そんな中、新聞を読んでいると、ある記事に目が止まりました。それは絵本についての記事でした。

絵本の題名は「ぼく 生きたかったよ…」。ヒグマの親子の悲劇を描いたものでした。第2次世界大戦中の1944年3月。戦争が激しさを増す中、もし空襲(くうしゅう)で動物園の檻(おり)が破壊されて動物が逃げれば人を襲う。そんな社会不安に対し、軍部の命令により、京都市記念動物園(現・京都市動物園)の子熊と母熊が銃で撃たれ殺されました。動物園側は「空襲を受ければ脱走する前に動物は死ぬ」と、動物たちを殺さないように、そういった動きを静めようと働きかけましたが、残念ながら、ホッキョクグマ、トラ、ライオンと、その後も殺処分は続き、計14頭の猛獣類が犠牲になったそうです。動物たちに何の罪もないのに…。

また、戦争による食糧不足から、キリンやラクダ、ゾウなども次々と衰弱し、やがて多くが死んでいきました。「ぼく 生きたかったよ…」は、そんな実話に基づいて創られた絵本でした。

「動物園は平和そのものである(ZOO is THE PEACE)」。この言葉は上野動物園の初代園長が残した言葉だそうです。

「戦争になると命が驚くほど軽くなり、動物たちは何も分からないまま人間の非情さの犠牲になる。動物園があり続ける(動物園がちゃんとある、存在する)ことこそが平和の証(あか)しであり、動物園を訪れるときは、初代園長のこの言葉を思い出してほしい」と、この絵本を監修した方は語っていました。

ひとたび戦争が起こると、この絵本の話のように、かけがえのない動物の命も、人間の命も、簡単に奪われていきます。戦後75年。日本が戦争を起こさず平和を築き上げてきた今、改めて平和の尊さや命の重さを感じ、私たちはこれから何をしていかなければならないのか、どんな行動が必要なのかを考える機会を、皆さんには持ってほしいと思います。

◆SANKONの愉快的仲間たち ～北上支部生徒交流会～

例年、夏休みに入ると、北総合支援学校を会場にお借りして、「SANKONの愉快的仲間たち(北上支部生徒交流会)」を実施しています。

今年は、コロナウイルス感染防止という観点から、密を避けるために、各校とも学校再開後も全校集会などで体育館等が集まるのが難しい状況になっています。SANKONも参加校が11校で本来100名以上の生徒が集まる交流会なので、29回目を迎える伝統ある交流会ではあるものの、さすがにこの夏は中止になるのではないかと心配していました。

しかし、交流会の運営を担当する先生方の熱意により、検討に検討を重ね、皆が集まることは無理でも、集まらずに何かできることはないかと知恵を出し合い、今年度はリモートによるテレビ会議システムを使った方法で、交流会を実施することに決まりました。

1学期終了となる7月31日(金)の午後3時から、テレビ会議システムが上手く繋(つな)がるかの確認を参加校がそろって一斉に行いました。そして、いよいよ本番。8月4日(火)の午前10時から約2時間ほどでしたが、29年の歴史の中で初めて、リモートという新しいやり方での開催となりました。

SANKONとしての共通テーマは、今年度も「人と人とのつながり ～目の前の一人から世界の人々へ～」と設定。このテーマで4年目となりますが、これまで地震や豪雨で被災した学校に義捐金(ぎえんきん)を送ったり、人と人とのつながりを大切にする活動を実施しています。各校もこのテーマに沿った自校の取組について、例年はこの交流会で、その活動内容の報告を行っていますが、今年度はどの学校も休校の関係で、活動そのものが進んでいないのが現状です。

そこで、今回はテーマにとらわれず、まずは交流をして相手のこと、相手の学校のことを知るということを目標に実施しました。



当日、午前10時にテレビ会議上での開会式(全体会)が始まり、代表校の開会の言葉の後、交流会の流れについての簡単な説明が行われました。開会式後、いよいよ各校の交流が始まります。各学校ごとに生徒は4名程度の小グループに分かれ、異なる4校の小グループが1つのグ

グループになって20分間の交流を行います。その後も小グループをチェンジして、1回目と同じように20分間の交流をさらに2回実施し、各校の小グループができる限り多くの学校と交流できるように工夫をしました。

本校から参加したのは13名で、当日は3つのグループ(4人・4人・5人)に分かれました。それぞれの小グループが別の3校の小グループとの交流を3回ずつ行い(1つの小グループは合計9つの小グループと交流)、上京中全体としては27($9 \times 3 = 27$)の小グループと交流することができました。

この小グループごとの交流会では、自己紹介に続き、今の学校のようなすや自校の生徒会テーマ(スローガン)、これまで生徒会として取り組んできた活動内容、活動での苦労話、現状制限のある中で頑張っている取組やこれから取組もうと考えている活動などについての報告を互いに行います。そして、それぞれの報告に対し、聞きたいことを自由に質問しながら、交流を深めました。

上京中は生徒会スローガン「不撓不屈(ふとうふくつ)」の紹介や、7月にテレビ会議システムで生徒総会を実施したこと、夏休み前に募集した「コロナに負けるな!」をテーマにした川柳(せんりゅう)などの取組についてを紹介しました。他校からの質問では、リモートによる生徒総会や川柳について聞かれることが多かったようですが、各小グループごとに、頑張っている自分の言葉で返答していました。

今回は例年のように直接会って交流を深めることはできませんでしたが、リモートという新しい手法による交流も、結構満足できるものだったようです。自分の学校と異なる他校の取組に新鮮さを感じ、「この取組なら上京中でもできるかも」「上京中でも取り組んでみたい」などと前向きな発言が聞かれたり、自分たちが取り組んでいることを他校もやっているということがわかったと自信になったり、生徒たちにとっては自分たちの視野が広がる貴重な体験となりました。

今回の交流が、本校の生徒会活動をさらに活発にしてくれればと願っています。頑張ってください。応援をしています。

【保護者の皆様へ】

夏休みもあっという間に過ぎ、2学期がスタートしました。初日・2日目のあいさつ運動では、PTAの運営委員の皆様にはご協力いただき感謝をしています。2学期早々より合唱コンに向けた取組が始まりましたが、パート練習や全体合唱で聞こえてくるみんなの歌声やクラスが頑張っているようすを見ると、何だか嬉しくなり、元気が出てきます。今年はいろいろな制約がありますが、上京中学校では合唱コンをはじめ様々な取組を通して、生徒一人一人の主体性や社会性を育みたいと考えています。保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いします。

ちなみに、本校の「めざす生徒像」は次の1～6の6項目で、主体性に関わる内容が1～3、社会性に関わる内容が4～6となっています。

1. 自己を見つめ、自らの課題に向き合う生徒
2. 目標を定め、主体的に学び・行動する意欲をもった生徒
3. 何事にも一生懸命に取り組む、粘り強くやり抜く生徒
4. 自らを律し、正しく判断・行動できる生徒
5. 多様な価値観を認め、互いに尊重し合い、共に助け合う生徒
6. 集団の中で、学び合い、磨き合い、高め合う生徒

なお、『学校だより・夏休み直前号』でお伝えした2学期の学校行事について、一部変更が出ましたので、お詫びとともに、修正した内容をご連絡します。

合唱コンクールについてはお伝えしたとおり、9月24日(木)に京都コンサートホールにて開催します。保護者については人数制限をしますが参観可となります。(午前：1年生・2年生、午後：3年生 ※1組は各学年の交流学級にて発表)

文化祭は中止。ただし、展示の部は別日に保護者も鑑賞できる日を設ける予定です。

体育大会は無観客(保護者の参観は不可。申し訳ありません。)で学年別での実施となります。日程は10月8日(木)に3学年とも行うことになりました。(午前：1年生・2年生、午後：3年生) 以上ですが、詳細は別途ご案内いたします。(来週配付予定)

一方、緊急事態宣言が解除されてからまもなく3ヶ月となりますが、新型コロナウイルスの感染状況については、まだまだ予断を許さない状況にあります。京都市では9月を「京都市コロナ感染防止徹底月間」と位置づけて、感染拡大防止の取組を呼びかけています。引き続きご家庭でも、健康観察・検温や感染予防(3密を避け、マスクの着用、手洗いの励行)などのご協力をお願いします。

また、すでに通知文にてお知らせしたとおり、新型コロナウイルス感染症による経済的な影響で、家計急変により収入が減少した場合は、就学援助について、臨時措置により認定できる場合があるそうです。そのような状況がありましたら、遠慮なく学校へご相談ください。

最後に、非常に強い台風10号が日本列島に近づいています。台風情報には十分注意をいただきますようお願いいたします。なお、万一、週明け7日(月)が台風により休校となった場合も、余程のことがない限り、中間テストは予定通り9日(水)～11日(金)に実施します。

【8・9月行事予定】

8・9月行事予定を貼る

